

総務

一般会計予算中、NHK全国放送公開番組関連経費

〔質問〕 どのような番組か。
 〔答弁〕 今回招致する番組は「新・BS日本のおた」という音楽番組で、日本の定番ともいえるべき名曲を紹介するものである。

〔質問〕 予算計上の経緯と内訳は。
 〔答弁〕 新佐賀放送会館が中心市街地に建設されることにより、全国放送を招致し、佐賀市を全国にアピールしたいと考えており、番組収録会場の設営や運営に要する経費等を計上している。

文教福祉

佐賀市国民健康保険税条例の改正

〔質問〕 医療分において、県が提示した標準税率にならえば均等割額は730円下がるが、500円しか下げていない。この理由は何か。

〔答弁〕 県が標準税率を示し、その後市町が対応するか判断している。税率を引き下げた理由は、国交付金と決算剰余金が増加したためである。下げ幅は、今後の医療費の動向等を勘案して決めている。

〔質問〕 番組を通して、佐賀市の魅力をどの程度アピールできると考えるか。

〔答弁〕 他市で開催された番組では、地元の子ども合唱団等が番組に参加する演出がなされていた。今後の協議で、市の魅力発信につながる演出を少しでも多く取り入れたい。



常任委員会

同予算中、選挙啓発経費

〔質問〕 年代別または地域別の選挙啓発についての具体的な取り組みは。

〔答弁〕 小学生に選挙期日に関するチラシ等を配布し、家庭で選挙の意義について話題にもらい、将来的に自ら投票に行く意識付けにつなげたい。また、YouTube上で動画を再生すると表示される広告を掲載し、啓発を行いたい。さらに、現在は佐賀大学のみを設置している期日前投票所を他大学に広げるため、各大学と協議していきたい。一方、富士町

佐賀市子どもの医療費の助成に関する条例の改正

〔質問〕 助成対象の拡大については、今まで難しいと一般質問での答弁だったが、決定までの経過はどうなっているか。

〔答弁〕 これまで、一般質問の際、予算的に厳しいので十分に検討して進めていくと答弁してきたが、助成対象を拡大したいの思いから、県内市町や九州県都等の動きも調査し、機会あるごとに経費の試算を行うなど検討を行ってきた。市民の方から要望もいただいたこともあり、来年度予算を検討する中で、コロ

の一部地域で設置している移動期日前投票所については、地域間の公平性を担保しながら、慎重に対応していきたい。

〔質問〕 期日前投票所を大型商業施設に設置してはどうか。

〔答弁〕 投票率を向上させる点では有効だと思いが、駐車場の確保が困難であることや、商業施設の営業に支障が出るおそれがあることから、設置は困難と考える。また、一度設置すれば、継続して設置する必要があることから、これらの課題や他市の状況等を踏まえて検討したい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

ナ禍において子育て世帯の負担軽減に少しでもなればとの思いで、来年1月から実施したいとの判断となった。

一般会計補正予算中、新型コロナウイルスワクチン接種経費

〔質問〕 予約受付の際に、電話受付だけではなく、インターネットを活用するなど、何か工夫が必要ではないか。



〔答弁〕 予約受付は、電話受付に加え、QRコードを使用しスマートフォンからウェブ上で予約できる

システムを検討している。

〔質問〕 例えば聴覚障がい者に対するFAX受付や接種会場での手話通訳対応など、障がい者に対する対応についてはどう考えているか。

〔答弁〕 聴覚障がい者のためのFAX予約など検討している。予約手続きや接種会場においても、なるべくスムーズに接種ができるようにしたいと考えている。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

情報コミュニケーション条例の制定を!! (文教福祉委員会が市長へ調査報告)



佐賀市議会 HP

経済産業

一般会計予算中、有害鳥獣駆除対策事業

〔質問〕 昨年の附帯決議では、新規狩猟者の掘り起こしを大きな課題としていたと思うが、予算案は新規狩猟者が出てきた場合の補助にしか見えない。新規狩猟者を掘り起こすための予算が全くついていないが、どのように考えているのか。

〔答弁〕 狩猟を行うには保険の加入も必要であるが、猟友会に入ると保険代が比較的安くなる。また、狩猟期には毎年狩猟登録が必要だが、猟友会に入れば、市

が登録費用の助成を行う。このため、新規で免許取得を考える方に対しては、そういった利点を広報する必要がある。

〔質問〕 それはあくまで検討している人に向けての発信ではないのか。そうではなくて、新規狩猟者を掘り起こすための方策は考えていないのか。

〔答弁〕 新規の掘り起こしは非常に重要だと考えており、ホームページや市報などで新規狩猟者に対する支援について周知していきたい。

〔質問〕 例えば、新たな人を紹介したら何らかのメリットがあるというような、

新規狩猟者の開拓に真剣に取り組んでもらえるような方策を検討してはどうか。

〔答弁〕 猟友会と定期的に意見交換をしながら、新たな狩猟者の掘り起こしについて積極的に検討してきた。



〔質問〕 新規事業の取り組みや事業の拡充をする割には、予算総額が今年度から

大きく増えていないのはなぜか。

〔答弁〕 農作物被害軽減のために必要額を予算化したつもりであり、来年度事業は自衛活動を強化することをポイントとしている。これは今まで市で十分でなかった部分であり、先進事例などを調査した結果、駆除や防除だけではなかなか被害を軽減できず、集落対策にも力を入れるべきだと判断したため、その予算を計上している。捕獲と自衛活動をバランスよくやっていくことで、農作物被害をできるだけ軽減していきたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

建設環境

一般会計予算中、カラス被害防止ネット購入費補助金

〔質問〕 昨年度より予算を増額しているのか。

〔答弁〕 令和2年度は9月の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した補正予算を含め、260万円を予算措置したが、申請件数が多く、令和2年12月には予算がなくなるほどであった。また、令和3年4月からの補助金申請の相談もすであつてい

60万円増額して計上している。

〔質問〕 令和3年度の途中で予算が不足した場合、補正予算を組む考えはあるか。

〔答弁〕 カラス被害の防止対策については、この補助事業だけでなく、ごみステーションの管理やカラスネットの下に黒いシートを被せるなどの対策方法を周知しながら、総合的に取り組んでいきたい。まずは、それらに取り組んでから補正予算については考えていきたい。



常任委員会

同予算中、佐賀コローニ跡地開発関連水路整備事業及び川上地区調整池整備事業

〔質問〕 調整池の大きさは十分なのか。

〔答弁〕 佐賀県が開発区域内の調整池を整備し、本市は川上地区の浸水軽減を図るための調整池を大和中央公園の区域内に計画している。今回の調整池だけで浸水問題が全て解決するとは考えておらず、水路の障害物除去やしゅんせつなどを含めた総合的排水対策を考えている。

〔意見〕 この地区は浸水しやすい地域と聞く。産業団地が開発されれば、排水能力に更に負担がかかるため、そのことを

考慮した上で計画を進めていただきたい。

〔答弁〕 この地区は令和元年も県道付近で浸水被害に遭い、その対応として、令和2年に嘉瀬川の西側にある右岸幹線水路の障害物の撤去や東平川のしゅんせつといった排水対策が行われた。今後は、大和中央公園内に調整池等を整備することでさらなる排水対策に努めたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。